

民営化のメリット・デメリット

1 メリット

(1) 民間の特長を活かしたサービス拡充

⇒ 民間の特長である柔軟性を活かした延長保育時間の延長などを想定

⇒ 事業者応募時の事業者からの提案を受ける。

(2) 国や都の補助金をさらに活用することにより、子育て支援施策の充実に積極的に活用します。

2 デメリット

(1) 職員が変わることによる環境の変化

⇒ 児童・保護者に不安のないような対応

(2) 民間事業者が変わることによる撤退のリスク

⇒ よりよい事業者を選定するための取組み など

デメリットの
解消のために

① 公立保育園の保育を引き継ぐための全体的な取組み

- ガイドラインの作成
- 運営事業者との協定書の締結

② よりよい事業者を選定するための取組み

- 事業主体及び運営の条件の設定
- 公募型プロポーザル方式や選定委員会の設置

③ 民間事業者へスムーズに移行するための取組み

- 十分な引継ぎ・合同保育の実施
- (仮称) 三者協議会の設置

※ 移行期間中に問題が発生した場合、市は責任をもって調整に入り、必要な改善・指導を行う。

※ 市は、運営事業者に対し、移行期間中及び民営化後の運営に必要な研修の実施等、民営化にあたって必要な支援を行う。

④ 民営化後の園に対する取組み・市の対応

- 移行後の園に対する市の確認・支援等
- (仮称) 三者協議会による保育内容の確認等
- 保育内容の評価と結果の公表 (第三者評価、保護者アンケートなど)

詳しい内容は、
民営化の
ガイドラインで
定めます。